

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 法と現代	日本国憲法	堀田 学	1 年次	秋

授業のキーワード	国民主権、基本的人権の尊重、平和主義
授業の概要	日本国憲法は、最高法規であるため様々な法律にもその理念が生きています。日本国憲法は、身近な生活にもその理念は活かされています。この授業では、日本国憲法の意義と課題について考えていきます。
期待される学習成果（目標）	1. 教養科目としての日本国憲法を理解する。 2. 憲法の規定に則って統治機構が動いていることを理解する。 3. 人権概念を理解する。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	憲法とは	この授業のオリエンテーションをします。また、憲法と国家の関係について説明します。	第 9 講	国民の権利および義務 4	参政権について一票の格差の問題を踏まえ説明します。
第 2 講	大日本帝国憲法と日本国憲法	大日本帝国憲法と日本国憲法の相違点を説明します。	第 10 講	新しい人権	憲法制定時に想定していなかった現代の新しい人権について考えていきます。
第 3 講	憲法の法源と解釈	法源と憲法解釈について解説します。	第 11 講	国会	国会の構成と組織、その権能について説明します。
第 4 講	国民主権と象徴天皇制	国民主権と象徴天皇制、国事行為について説明します。	第 12 講	内閣	議院内閣制と内閣組織、その権能について説明します。
第 5 講	平和主義	戦争の放棄、第 9 条について説明します。	第 13 講	裁判所	日本の司法組織と権能について説明します。
第 6 講	国民の権利および義務 1	人権の総説と歴史的展開について説明します。	第 14 講	地方自治	地方自治の本旨と地方自治体の権能・組織について説明します。
第 7 講	国民の権利および義務 2	精神的活動の自由について説明します。	第 15 講	憲法改正	硬性憲法である日本国憲法の憲法改正について考えます。
第 8 講	国民の権利および義務 3	経済的自由権について説明します。	定期試験		重要用語の理解、ならびに各講で取り上げた内容から出題します（記述も含む）。
評価方法	定期試験（100%）で評価します。 定期試験の受験資格として3分の2以上の出席が必要なので出席は毎回取ります。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
伊藤正己『憲法入門 〔第4版補訂版〕有斐閣、2006年 『ポケット六法（平成26年度版）』有斐閣、2013年			佐藤幸治『日本国憲法論』成文堂、2011年 渋谷秀樹『憲法 第2版』有斐閣、2013年 杉原泰雄『新版 体系 憲法事典』青林書院、2008年		